

格差社会が「階級社会」にないつつある！

平成のはじめ、1億総中流と言われた日本社会ですが、30年足らずで相対貧困率(格差の指標)が世界ワースト2位になりました。今や階級社会と言われています。

なぜ、こんな格差が生まれた？

一つの要因は平成5年の非正規雇用の拡大です。全就業者の4割が非正規、所得は大企業の正社員の3分の1。若者の未婚化、晩婚化によって少子化が進む一方、大企業には多大な利益をもたらしました。

もう一つの要因は国民に消費増税を課す一方、企業には減税が続けてきたことです。平成の間に国民が負担した消費税の総額は350兆円ですが、同期間に減税した法人税は280兆円です。

その間、大企業の内部留保は100兆円から450兆円に激増しました。

格差拡大は公的負担を増大させ、経済成長にもマイナス

誰でも望めば、普通の待遇の就職や結婚をして、子どもを生き育てることができる社会でなければなりません。格差の是正が少子化を止め、活力を取り戻し、希望のもてる日本をつくります。社会保障の財源問題やデフレ脱却など日本が抱える深刻な課題の解決につながると思います。

大企業優先の政治を転換する

自民党政治が官僚主導のもと、大企業優先、一極集中を促しました。政治構造や政策の転換は容易ではありませんが、だからこそ政権交代が必要です。その上で国民に目を向けた政策を実現したいと思います。

- ・**税負担のあり方とお金の使い方を見直す**
- ・**非正規雇用、長時間労働の是正**
- ・**家計を豊かにして消費の拡大で景気回復**
- ・**女性の待遇改善を図る**

人数 254万人
個人年収 604万円
貧困率 4.2%
未婚率 12.9%

現代社会の階級構造

資本家階級
経営者・役員

人数 1285万人
個人年収 499万円
貧困率 2.6%
未婚率 18.0%

新中間階級
管理者・専門職・
上級事務職
女性は労働者階級

旧中間階級
自営業者
家族従業員
農業者

人数 2192万人
個人年収 370万円
貧困率 7.0%
未婚率 31.0%

労働者階級
単純事務職・販売
職・サービス業・
その他マニュアル
労働者

人数 806万人
個人年収 303万円
貧困率 17.2%
未婚率 10.2%

人数 929万人
個人年収 186万円
貧困率 38.7%
未婚率 66.4%

非正規雇用

注 未婚率は男性のみ

引用：新・日本の階級社会
橋本健二著

- ・労働者階級から分離して非正規雇用の階層が生まれている。
- ・非正規雇用は全就業者の4割に達している。
- ・貧困層が明らかに増加している。
- ・自営業者や小規模農家が激減し、没落している。

梶原やすひろのホームページをぜひお訪ね下さい

- 内容
- ・わが町、わが村、美しいふるさと
 - ・梶原やすひろの考え
 - ・おばあちゃんのための政治講座
 - ・まんが国会
 - ・その他



篠山事務所 丹波篠山市西岡屋甲 570-2
TEL079-552-7107 FAX079-554-1700
三田連絡所 三田市相生町 21-12
TEL/FAX079-509-0033